

事業概要【 363 / 365 観光まちづくりによる関係人口創出プロジェクト事業】

申請者	新潟県長岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	526,537千円 (246,733千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 長岡花火（8月2日・3日開催）以外363日間における観光需要の創出や消費拡大等を図ることを目的に、関係・交流人口の視点を重視して、長岡市に興味関心を持つ人を増やし、さらに興味関心の度合い深めることで、長岡市への来訪や商品の購入、ふるさと納税につなげることを目指すとともに、来訪から購買へ、購買から来訪へなど長岡市と関係・交流人口の接点を増やすことを目指す。 取り組みを通じて地域産業の活性化と付加価値の創出を強化し新しい地方経済の創生につなげていくもの。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 新たな組織体制によるオール長岡総力戦での観光地域づくり^①と、「長岡ファン」づくりによる持続する関係人口の創出と見える化^②、訪れたくなるまち長岡の魅力アップと情報発信^③を連携して進めるもの。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「地域一体となった観光地域づくり事業」 ・組織づくり、アンケート調査経費 10,640千円 ②「関係人口創出（ファンクラブ）サイト構築事業」 ・魅力、認知度アッププロモーション展開等経費 20,000千円 ③観光資源の磨き上げ・プロモーション事業 ・日本酒PR、佐渡交流強化経費等 18,493千円 ・観光拠点施設の磨き上げ経費等 12,800千円 <p>【拠点整備事業経費】 合計184,800千円 ・寺泊観光案内所 新築関連経費 184,800千円</p>					<p>関係・交流人口の拡大と「来訪」「購入」「納税」の好循環を目指す</p>	
地域の多様な 主体の参画	各地域観光協会や宿泊業、飲食施設など本業としての観光関連事業者（中核的利害関係者）に加えて、商工会議所、農業・漁業関係者、金融、交通、学術、文化団体や、まちづくり協議会などの地元団体を巻き込み、現状把握や振興施策、新たな取組みなどの検討を進め、資源の魅力を高め、持続可能な体制づくりに活かす。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+36億円） ②観光入込客数（+300,000人） ③「長岡ファン」候補者数（+12,000人） ④HP閲覧数（+600,000Page View） ⑤旅行者の満足度（+21%）

1. 申請者情報

Table with 2 columns: 都道府県名 (新潟県), 市区町村等名 (長岡市), 地方公共団体コード (15202), 担当部署名 (観光交流部 観光企画課), 責任者名 (野澤 由香), 責任者役職 (課長), 担当者名 (大隅 一), 電話番号 (0258-39-2344), メールアドレス (kanko@city.nagaoka.lg.jp)

2. 交付対象事業の名称等

Table with 2 columns: 単独広域 (363/365観光まちづくりによる関係人口創出プロジェクト), 事業分野 (観光振興(しごと創生)), 事業分野(詳細) (観光振興(DMO)等の観光分野), 事業分野 (O), ソフト事業実施期間 (2025年4月1日 から 2028年3月31日 まで), 拠点整備事業実施期間 (2025年4月1日 から 2028年3月31日 まで), インフラ整備事業実施期間 (年 月 日 から 年 月 日 まで)

< 変更状況確認欄 > ※軽微変更報告の際に記載

Table with 2 columns: 最終交付決定日, 軽微変更報告日

Table with 10 columns: No., 都道府県名, 市区町村等名, 地方公共団体コード, 【ソフト事業】対象事業経費, 【ソフト事業】申請額(左記の1/2), 【拠点整備事業】対象事業経費, 【拠点整備事業】申請額(左記の1/2), 【インフラ整備事業】対象事業経費, 【インフラ整備事業】申請額. Total row shows 0千円 for all categories.

3. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)

「花火のまち」として知られる長岡市は、毎年8月2日、3日に開催する「長岡まつり大花火大会」の2日間に旅行者が集中し、市内に宿泊できない旅行者が県内他市町村はもちろんのこと近隣県に宿泊するケースもあるような状況である。しかしながら、それ以外の時期は、客室稼働率で見ると6割程度(観光庁宿泊旅行統計 二次速報)にとどまっており、特に冬期間には客室稼働率が5割を下回る場合もあるなど観光客数の大きな落ち込みが見られ、年間を通じた観光誘客が大きな課題となっている。また、長岡市は、守門岳から日本海まで広い地域の豊かな自然と、その恵みがもたらす日本酒や農産物、地域の歴史や文化を楽しめる観光スポットや体験コンテンツが豊富で、多くの観光客の来訪を促す魅力を持ちながらも、その磨き上げや広報周知が不足していたり、高速道路や新幹線の便の良さから旅行の通過点とされるなど、認知度のアップや来訪者の滞在時間の延長を図る取組みに期待が高まっている。さらに、海外からの誘客を図る動きとして、長岡青年会議所などを中心に様々な活動の立上げが見られるほか、令和6年に、「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録(長岡市は長年、佐渡市と観光振興のためのパートナーシップ協定を結び交流を継続)、「伝統的造酒り」ユネスコ世界無形文化遺産登録(市内に新潟県内最多の16酒蔵あり)がされるなど、長岡市にとって、世界的にも注目が集まる誘客促進の機を迎えている。これまで、本市においては令和5年3月に策定した「長岡市観光振興重点方針」に基づき、①国内外の旅行者のニーズ把握に努め、訪れたい観光コンテンツを創出する、②多様な連携を促進し、点でなく面で地域の稼ぐ力を育成する、③がんばる事業者を応援し、観光産業の競争力強化を促進する、の3つの視点から長岡市の「魅力向上」と「情報発信」に取組みを進め、コロナ禍の観光の冷え込みからの脱却を図ってきた。コロナ禍の落ち込みからは一定の回復が見られるものの、人口の急減により地域力・経済の減退が見られる長岡市において、「観光振興」による地域の活性化が重要視されており、現在策定中の「総合計画」においても、観光消費で経済規模の縮小をカバーしていこうとする取組みが議論されている。これを受け、次の3つの柱について連携させて取り組むことで、観光産業の高付加価値化・地域産業の活性化による関係・交流人口の拡大を図り、付加価値を生み出す新しい地方経済の創生を目指すことが本事業の目的であり、「通過型観光」から「周遊・滞在・宿泊型観光」へ転換した観光産業を切り口に地方都市の持続可能性を高めていくものである。①新たな組織体制によるオール長岡総力戦での観光地域づくり ②「長岡ファン」づくりによる持続する関係人口の創出 ③訪れたい観光まち長岡の魅力アップと情報発信

B. 地方創生の実現における構造的な課題

11市町村が合併し、豊かな自然と観光名所、食文化、歴史を有する広い地域となった一方で、人口は、平成26年と令和6年の比較で10年間で約8%減と急激に減少しており、伴って市の税収も停滞しており、地域経済が縮小傾向にある。1年間で長岡が最も賑わう「長岡まつり大花火大会(毎年8/2.3)」は、花火観覧会場の入場者数のみで295,000人で、令和5年年間入込客数が6,627,831人(新潟県観光入込客統計)で、1日あたりにして18,158人の長岡市にとって、突出して入込客数が増大する日となっている。デジタル観光統計(公益社団法人日本観光振興協会)による人流データでは、長岡市の年間観光来訪者の約4.6%(2024年)がこの2日間に集中しているというデータが出ている。また、WEBのレビュー状況からしても、長岡で最も注目度、認知度、そして集客力が高いのは長岡まつり大花火大会となっている。しかし、花火大会は365日のうちの2日間に限られるため、宿泊者数や市内での滞在時間、観光消費額の増加を図るには、この2日間以外の時期の観光強化を図ることが有効で、かつ不可欠である。また、「長岡野菜」や「地酒」など特産品、地域の歴史や自然、暮らしに根付いた文化などの観光資源を活かした観光誘客の取組みについては、業者間の連携や担い手不足及び高齢化のため、現状では地元ならではの商品の提供やコンテンツ造成が不十分である。今後は、商品及びコンテンツの磨き上げ支援や情報発信の強化等による観光消費額の増加を目指すとともに、地域内調達率の向上や、他産業との連携強化による地域産業の活性化と雇用の確保につなげることが重要になっている。また、合併した周辺地域では、急速の過疎化が進んでおり、地域住民も観光施設を中心にまちなにぎわいを取り戻したいと考えている。一方でそれらを運営する11の地域観光協会と長岡市全体をカバーする長岡観光コンベンション協会があり、どの組織も予算と人手不足に悩んでいる。観光施設と観光協会、住民連携の可能性の高い地域の施設の魅力を向上させることで、中心部と地域を線で結び、面的に広げる取組が求められている。

※(参考)長岡の観光資源

- 【観光】長岡花火「魚の市場通り」「越後丘陵公園」「撰田屋」「錦鯉」「牛の角突き」ほか
【自然】信濃川「雪」「守門岳」「日本海・夕日」「山古志・棚田」ほか
【食】日本酒(県内最多)「長岡野菜」「あぶらげ」「シヨウガ醤油ラーメン」「米」ほか
【温泉】蓬平温泉「寺泊温泉郷」「川口温泉」ほか
【歴史】山本五十六「河井継之助」「上杉謙信」「直江兼続」「良寛」「火焔土器」ほか

C. 交付対象事業の概要 (交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのが分かるように記載すること。)			
3つの柱、①新たな組織体制によるオール長岡総力戦での観光地域づくり、②「長岡ファン」づくりによる持続する関係人口の創出と見える化、③訪れたいなるまち長岡の魅力アップと情報発信を連携して進めることで、様々な業種、事業主体と相互に関わり合いながら、観光産業の高付加価値化・地域産業の活性化による関係・交流人口の拡大と付加価値を生み出す新しい地方経済の創生につなげていくもの			
【1 地域一体となった観光地域づくり事業】 様々な業種が連携した新体制の立上げと、データに基づいたマーケティング戦略、多様な事業者による主体的な取組みにより、観光まちづくりによる地域の稼ぐ力の育成と、強力で持続可能な施策展開が図られる。			
<ul style="list-style-type: none"> 様々なステークホルダーの取込みと観光まちづくりのかき取り役となる新たな組織づくり 各地域観光協会や宿泊業、飲食施設など本業としての観光関連事業者(中核的利害関係者)に加えて、商工会議所、農業・漁業関係者、金融、交通、学術、文化団体など、他産業の団体と意見交換を進め、業種を越えた連携によりオール長岡でマーケティング戦略に取り組む新たな組織の立上げを行うもの 市場データの継続収集(市内来訪者アンケート事業) これまで取得できていなかった観光消費額や観光客の満足度など、市の総合計画と観光まちづくりに取り組む上で必要なデータについて、アンケート調査等の委託実施により継続取得する。 データ活用による観光マーケティング戦略、受入環境の整備 取得した観光関連データを分析し、市や新たな観光まちづくり組織が、様々なステークホルダーの取込み・データに基づく効果的な事業実施に役立てる。 体験、宿泊、特産品、交通、コーディネート、情報発信など多分野の磨き上げ・体制づくり 地域の観光資源を守り、伝え、育てる伝承者、管理者をはじめ、多様な事業者や地域住民を巻き込み、現状把握や振興施策、新たな取組みなどの検討を進め、資源の魅力を高め、持続可能な体制づくりに活かす。 			
【2 関係人口創出(ファンクラブ)サイト構築事業】 長岡への観光での来訪をはじめ、SNSフォローやふるさと納税、ECサイト利用、花火観覧者、ふるさと会などへの参加者など、様々な長岡市の関係人口について、「ファンクラブ」という意識づけを行って可視化し、各種サービスのリピート性を高め、関係を深めていただくもの。「ファンクラブ」サイトの立上げ、顧客獲得のしくみについて事業委託により取組みを進め、観光まちづくりの新組織の設立に併せて本事業の運営を新組織に移行し、様々な分野の連携と効果・効率を図る事業とする。			
<ul style="list-style-type: none"> プロモーションサイトの構築・立ち上げ、「長岡ファン候補者」の新規取込み 他団体やSNS等との連携によるプロモーションサイトの拡大(2027年にファンクラブに改変予定) 長岡ファンの可視化とデータ分析に基づく更なる取組みの検討 			
【3 観光資源の磨き上げ・プロモーション事業】 観光資源の磨き上げと体験コンテンツの造成、プロモーションの実施、点と点を結び、面的な広がりにつなげる拠点となる観光施設の整備等により、さらなる観光誘客を図り、周遊観光の促進と市内滞在時間の延長による観光消費額の向上を目指すもの			
○ソフト事業 (長岡の魅力と認知度を上げる観光イベント、体験コンテンツの実施)			
<ul style="list-style-type: none"> 頑張る地域企業を応援するインバウンド誘客推進事業 酒の魅力を活かした越後長岡ブランドPR事業 撰田屋・宮内等観光まちづくり事業 佐渡交流強化事業 八十里越開通に向けた栃尾の魅力発信事業 			
(持続可能な施設運営につながる観光資源の磨き上げを行うもの)			
<ul style="list-style-type: none"> 長岡市道の駅R290とちお 機能強化事業 長岡市楽山苑 建物及び景観整備事業 			
○ハード事業 (観光交流施設の整備・拡充・拠点化を進めるもの)			
<ul style="list-style-type: none"> 寺泊観光案内所の整備※ 			
【※寺泊の観光拠点と観光地域づくり組織による周遊促進のイメージ】 寺泊地域(寺泊魚の市場通り)は市内の観光地の中で、通年の入込客数が最も多い(1,949,800人：R5年度)地域である。また、新潟県観光協会のHPIにおいても、常に検索上位にランクインしており、県内屈指の観光名所である。			
市内中心部に加えて、最も観光客の集まる寺泊地域の観光案内所の機能を向上させることにより、市内、ひいては周辺の弥彦・岩室地域、出雲崎・柏崎地域をはじめ県内全域への周遊効果を高めたいと考えている。加えて、寺泊は佐渡との歴史的な縁があり、本土との最短の港(「寺泊⇄赤泊」定期航路は廃止されたが、短期航路として今後の展開を模索中)として連携事業を継続実施しており、佐渡金山の世界遺産登録より増加傾向にある佐渡の旅行者の県内周遊の中継地点にもなり得る。			
具体的には、大型観光バス等の受入体制を整備することで、案内所の来場者の増加を図り、その他のソフト事業で整備する観光拠点や佐渡との連携のPR、旅行者のニーズに合わせた泊食分離のイベント等の実施を予定している。			
また新たに整備する観光地域づくり組織とも連携して、長岡全体の周遊の顔として観光の窓口機能の強化を図り、その他のソフト事業の点を線に結び面により、観光客の満足度の向上と滞在時間の増加を促進し、長岡ファンの拡大を目指す。			

4. 重点テーマへの該当

重点テーマへの該当	
重点テーマ	

5. 他の政策・施策等との連携状況

連携事項	他省庁補助金等の関連する他政策・施策との戦略的な連携を図る事業	PFI法に基づく事業	
	他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業	地域再生法に基づく事業	
	特区制度に係る制度・規制改革を活用した、又は活用しようとする事業	スタートアップ支援に係る事業	

6. 他の国庫補助金等の対象事業の除外

ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
---	---

7. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)

KPI① (アウトカムベースで、複数年度を通じて評価指標としてふさわしいもの)	観光消費額	単位	円
KPI②	観光入込客数	単位	人
KPI③	「長岡ファン」候補者数	単位	人
KPI④	HP「長岡観光ナビ」閲覧数	単位	Page View
KPI⑤	旅行者の満足度	単位	%
KPI⑥		単位	

観光消費額を向上させるには、長岡での滞在時間を長くする必要があります。
 そのためには、旅行者の満足度を高めること、「長岡花火」等の人気イベントでファンを増やすとともに、花火以外の時期の来訪や地場製品の購入、ふるさと納税などを通じて、長岡市との関わりを増やしてもらったり、リピーターとなってもらうことが重要である。
 それらを確認する指標として、旅行者へのアンケート調査やデータ分析を実施し、それぞれの相関を確認することで、ベルナや課題を把握し、PDCAサイクルを回すことにより、次年度のトータル的な観光消費額の向上を目指す。

KPI①
 観光産業は裾野が広い産業であり、施策の効果を測るには、観光消費額全体の動きにより効果を測る必要があると考える。
 計測手法については旅行消費単価×宿泊者数により算定する。旅行消費単価については、現状では長岡市分の旅行消費単価を把握できていないため、観光庁 旅行・観光消費動向調査の都道府県別集計表の新潟県の単価を使用する。宿泊者数については、観光庁 宿泊旅行統計の二次速報の長岡市分の数値を使用する。旅行消費単価については、今後より正確な数値を把握できるようにするため、本交付金事業を活用して長岡市分の旅行消費単価を捕捉できるようにアンケート調査等の実施体制を整え、事業2年目以降は長岡市分の消費単価×宿泊者数の推移も参考値として計測する。
 過去の実績については、2023年が11,688,456,000円(2.6万円×449,556人)、2022年が11,128,185,000円(2.7万円×412,155人)、感染禍前は2019年が13,861,316,000円(2.8万円×495,047人)、2018年が10,892,154,000円(2.1万円×518,674人)となっている。長岡市内の宿泊者のうち2割程度は新潟県内在住者であり、県内の人口減少の影響を受けている。また、宿泊者の7割程度は男性1名の利用となっており、ビジネスでの利用とみられるが、感染禍を経て出張需要の縮小がみられる中で、各種取り組みを実施しても大幅な上昇を見込むことは困難な状況である。旅行消費単価については、2024年12月の宿泊料の消費者物価指数が2020年比で155と大幅に上昇しているものの、観光を含む「娯楽・教養」は2020年比で114に留まっている。これらの宿泊者数及び物価の動向を踏まえる上で、旅行消費単価については年間5～8%程度の上昇と考え1年当たり2,000円の単価の上昇、宿泊者数については、年間2%程度の上昇と考え1年あたり10,000人の増加を見込むもの。(※初年度のアンケート結果を元に、日帰り単価と観光入込客数の観光消費額への影響も検討し、修正していく)

KPI②
 観光入込客数は、各観光スポーツやイベントの来訪者数の合計であり、日帰り観光客や観光施設やイベントへの来訪と関係がある数値である。そのため、本数値を計測することで、観光コンテンツ・観光施設の磨き上げが来訪者の増加や日帰りを含めた観光客の増加に寄与したのかを測ることができると考える。
 計測方法については新潟県観光入込客統計により集計した長岡市内分の数字を使用する。長岡市の観光入込客統計では2023年が7,839,487人と2022年の6,451,921人から増加したものの、感染禍前は2019年が7,288,087人、2018年が7,439,861人、2017年が7,589,378人で減少傾向にあった。原因として、長岡市の観光客の大部分を占める新潟県内の人口減少が考えられ、今後も更なる県内の人口減少が続くことが見込まれるため、年間100,000人の増加を目指すもの。

KPI③
 人口減少が進行するなかで、交流人口の維持・拡大のみではなく、市に関心の高い潜在的関係人口と様々な接点を増やすことが、市との関わり方を段階的に育成・成長させることにつながる。そのため「長岡ファン」の定着を目的にファンクラブの立ち上げに向け、設立時(3年目)のスムーズな会員獲得の礎とすべく、プロモーションサイトによる興味喚起と周知拡大を実施する。
 サイト内の映像視聴者数を「長岡ファン候補者数」と定義し、市への関心の高い関係人口人数の近似指標としてKPIとする。
 (※映像視聴者数は、飛騨市ファンクラブの会員数(6年累積で約10,000人)を目標とし、視聴者数の推移は市ECサイトの年間購入件数の推移を踏まえて+10%とする)

KPI④
 観光情報のウェブサイトについては、いわゆるカスタマージャーニーの認知や比較検討の段階で使用されるものだと考えられる。誘客促進を図るには、まずは認知及び比較検討段階の人数を増やすことが肝要であり、それらの数が来訪可能性、ひいては観光消費額の増加につながるものであると考えることから施策の効果測定に適している。また、本事業により設立する新たな観光まちづくり組織が今後サイト運営を行う予定であり、本指標はサイトの魅力向上を図る取組みの効果測定することにもつながると考える。
 計測方法については長岡市の観光情報サイトである「ながお観光ナビ」のページビュー数をグーグルアナリティクスにより計測する。2024年分が1,840,191、2023年分が1,410,662、2022年分が1,219,883であったことから毎年200,000の増加を見込んだもの。閲覧数は上昇傾向にあるものの、HPの閲覧者のうち新潟県内在住者は2番目に多く2割程度を占めており、今後急速な人口減少により、県内閲覧者の伸びは鈍化する可能性があるため、急速な増加は見込めないと考える。(閲覧者の1位は東京都で3割程度を占めている。)

KPI⑤
 人口減少等により特に国内の観光需要が縮小する中、観光満足度の向上によるリピート顧客やロイヤル顧客の確保による、リピート率の向上や消費単価の向上や更に重要になっている。観光満足度が向上することは、今後の長期的な来訪や観光消費につながることから、費用対効果を測定するのに適していると考えられる。また、満足度の高さは、関係人口の長岡市への愛着や親しみの大きさ、長岡市との関わり方の強さを示している指標であると考えられることから、費用対効果を測定するのに適していると考えられる。
 計測方法については新潟県が実施している観光地満足度調査の結果を使用する。長岡市においては、蓬平温泉と寺泊地域が調査対象となっているため、両地域で「大変満足」と回答した割合の平均値により計測する。令和5年度調査 24.5%(蓬平温泉 大変満足:27.7%(全回答者数:430)、寺泊地域 大変満足:20.9%(全回答者数:382)、令和4年度調査 43.4%(蓬平温泉 大変満足:46.2%(全回答者数:493)、寺泊地域 大変満足:39.8%(全回答者数:389))となっているため、令和4年度調査の数値を目指すもの。なお、今後より正確な数値を把握できるようにするため、本交付金事業を活用して長岡市全域の満足度を捕捉できるようにアンケート調査等の実施体制を整え、事業2年目以降は長岡市全域分の満足度も併せて測定する。

設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠

	事業開始前(現時点)	2025年度 増加分	2026年度 増加分	2027年度 増加分	2028年度 増加分	2029年度 増加分	年度 増加分	KPI増加分の累計				
KPI①	11,688,456,000	1,179,112,000	1,219,112,000	1,259,112,000								3,657,336,000
KPI②	7,389,487	100,000	100,000	100,000								300,000.0
KPI③	0	10000	1,000	1,000								12,000
KPI④	1,840,191	200,000	200,000	200,000								600,000
KPI⑤	24.5	7.0	7.0	7.0								21
KPI⑥												0

8. 自立性

取組内容
 (事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。)

3年目に観光産業の中核を担うDMOを立ち上げ、長岡ファンサイトの運営事業を受託[C]しつつ、観光コンテンツを運動させた旅行商品や特産品の販売手数料[A]や、観光事業者向けの連携の場の提供[B]することにより自主財源確保する。4年目以降は、従来、長岡市から長岡観光コンベンション協会に支出していた補助金[D]をDMOに変更し、5年目以降に事業効果として[A][B]の自主財源増を見込み、市の財政負担[D]を年50万円づつ減らしていく。

※自立性については、継続して運営を担っていくDMO組織のものをベースに考える

自主財源の種類		自主財源の内容						
[A]	手数料	旅行商品造成やガイドの派遣にかかる手配料 + 特産品等各種販売手数料 (財源:観光客、民間事業者)						
[B]	観光事業者向けサービス利用料	HPやSNS、配布物等の広告手数料、会員向けデータに基づく研究会費 (財源:民間事業者)						
[C]	事業運営受託料	長岡ファンサイト運営受託料 (財源:長岡市)						
[D]	長岡市からの補助金	事業推進における長岡市の運営費等の経費負担 (財源:長岡市⇒長岡観光コンベンション協会補助金をDMOへ交付先の変更)						
[E]								
各年度における自主財源見込額	事業開始前(現時点)	2025年度(1年目)	2026年度(2年目)	2027年度(3年目)	2028年度(4年目)	2029年度(5年目)	2030年度(6年目)	
[A]	0千円	0千円	0千円	3,500千円	3,600千円	3,700千円	3,800千円	
[B]	0千円	0千円	0千円	6,000千円	6,600千円	7,200千円	7,800千円	
[C]	0千円	0千円	0千円	0千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
[D]	0千円	0千円	0千円	107,828千円	107,328千円	106,828千円	106,328千円	
[E]								
合計	0千円	0千円	0千円	117,328千円	120,528千円	120,728千円	120,928千円	
交付対象事業経費		246,733千円	159,162千円	120,642千円	0千円	0千円		
うちソフト事業費		61,933千円	64,162千円	120,642千円	0千円	0千円		
うち拠点整備事業費		184,800千円	95,000千円	0千円	0千円	0千円		
総事業費								

9. 地域の多様な主体の参画

区分	主体名	主な役割、意見及び改善方策への反映
産	長岡観光コンベンション協会 地域観光協会 長岡商工会議所 宿泊、飲食、交通事業者 酒造会社、地場産業関係者 農業者、漁業者	【役割】観光関連業者の全体調整を行う 【意見・改善方策】旅行者のニーズに合った企画を実施するために、関係業者のニーズ、各事業のモレダブリを把握し、データに基づく仮説を共有し、新たな組み合わせの旅行プランの開発や商品開発を実施する。
官	長岡市	【役割】各事業の全体調整を行う 【意見・改善方策】旅行者のニーズに合った企画を実施するために、データを収集し、商工会議所を中心とした産業界への情報提供を行い、新たなDMOにむけた合意形成を図る。
学	長岡造形大学、長岡大学、長岡技術科学大学、市内高校ほか	【役割】まちづくり、地元産業の活性化、インバウンドなどの分野で、「専門家の視点」「若者の視点」で意見する。 【意見・改善方策】分野にあわせた大学等が会議に参画し、若者の参加や、専門的なアドバイスを実施することにより、地域の魅力向上を図る。
金	第四北越銀行、大光銀行	【役割】意欲ある民間事業者への資金繰りの相談や、DMOの収支バランスなどで意見する。 【意見・改善方策】DMOの会議や、異業種の意見交換の場で、資金繰りや初期投資への補助制度に関する助言を実施
労	地域おこし協力隊	【役割】まちづくり、地元産業の活性化、インバウンドなど分野で、「よそもの視点」「都市住民のニーズ」で意見する。 【意見・改善方策】住民全般など地域の会議で、地域の魅力や可能性を発表してもらい、住民に地域の魅力を再認識させまちづくりに巻き込む。
言	地元新聞社等	【役割】旅行商品や地域の魅力の周知 【意見・改善方策】既存の観光拠点をPRすると同時に、新たに立ち上げた連携企画をストーリー性をもたせて整理する。
住民全般	まちづくり協議会 ガイドボランティアの会	【役割】地元での活動の中心、機運醸成 【意見・改善方策】地域住民との話し合いの中心

10. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

検証時期	毎年度 9 月
検証方法	産官学金労言による長岡市地方創生推進会議等の外部有識者による各種委員会の意見等も踏まえ検証実施する。
参画者	長岡商工会議所、長岡地域商工会連合、長岡公共職業安定所、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、長岡造形大学、長岡崇徳大学、長岡大学、商工組合中央金庫、大光銀行、第四北越銀行、長岡信用金庫、新潟県信用組合、日本政策金融公庫、日本労働組合総連合会・新潟県連合会 中越地域協議会、新潟日报社
検証結果の公表の方法	市ホームページ等で公表する。

11. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標	
	現行の地方版総合戦略	次期地方版総合戦略
新潟県長岡市	2020 年 4 月 1 日 から 2026 年 3 月 31 日 まで	2026 年 4 月 1 日 から 2031 年 3 月 31 日 まで
	長岡の歴史、文化、自然、特産品などの豊かな地域資源をさらに磨き上げ、広く国内外に情報発信することで「長岡ファン」を増やすとともに、近隣・関係市町村等との広域連携の積極的な推進や、国際的な交流の充実により、交流人口・関係人口を増やします。	長岡の歴史、文化、自然、特産品などの豊かな地域資源をさらに磨き上げ、広く国内外に情報発信することで「長岡ファン」を増やすとともに、近隣・関係市町村等との広域連携の積極的な推進や、国際的な交流の充実により、交流人口・関係人口を増やします(策定作業中)。

12. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称
新潟県長岡市	長岡市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画 地域再生計画の区域 新潟県長岡市の全域 計画期間 地域再生計画の認定の日 から 2026 年 3 月 31 日 まで

(別紙1-1) ソフト事業経費内訳

2025.1.17

	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	61,933千円	64,162千円	120,642千円	0千円	0千円	246,737千円
交付対象事業におけるソフト事業経費【②】	49,133千円	55,862千円	74,442千円	0千円	0千円	179,437千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費【③】	12,800千円	8,300千円	46,200千円	0千円	0千円	67,300千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費比率【③/①】	20.7%	13.0%	38.3%	0.0%	0.0%	27.3%

<2025年度(1年目)>

全事業期間における本年の位置付け		1. データ分析に基づく、関係者との合意形成と、新組織の方向性の確立 2. 交流人口の拡大に向けたPR手法の検討と試行						
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
2025年4月	2026年3月	2025年3月	当初	年月		年月		
交付対象事業経費							61,933千円	
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	3	計	49,133千円
1	①「地域一体となった観光地域づくり事業」				関連するKPI	①、②、⑤		
	①-1 様々なステークホルダーの取組みと観光まちづくりのかじ取り役となる新たな組織づくり 8,640千円 地域の現状把握のために観光動態調査や観光ニーズ調査等を実施するとともに、調査結果を基に、地域のステークホルダーを巻き込みながら長岡の観光振興及び新たな組織のあり方の検討を進める。調査を実施することで、より詳細かつ客観的なデータに基づき現状把握を行う。また、地域のステークホルダーと現状認識を共有し、今後の観光振興の方向性やDMOのあり方について検討を進めるもの。 各種検討に当たっては、観光客目線や他地域と比較した上での相対的な評価により検討を進める必要がある。そのためには、客観的、第三者的視点に基づくデータの分析やWS等の運営が必要になることから、各種調査、WS等運營業務について業務委託により行うもの。 ・各種調査、WS等運営委託【8,000千円】 【内訳】 ・動態調査業務委託料 2,200千円 ・観光ニーズ調査業務委託料 2,200千円 ・市民向けアンケート調査業務委託料 660千円 ・宿泊状況データ利用手数料 616千円 ・WS、検討会運營業務委託料 1,650千円 ・運営管理業務委託料 674千円 ・WS、検討会参加者謝金 640千円 ①-2 アンケート調査による現状把握 2,000千円 ①-1のKPIとして想定している指標(来訪者満足度、観光消費額)、DMOの形成・確立計画において必須KPIとなっている指標(旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率)等に関する情報を収集するためのアンケート調査を行うもの。指標を設定し、PDCAサイクルを確立することで、より効果的な政策を実施することが可能になる。 ・市内来訪者アンケート実施業務委託料 2,000千円				10,640千円			
2	②「関係人口創出(ファンクラブ)サイト構築事業」				関連するKPI	③、④		
	継続的な関係人口を創出するための「長岡ファンクラブ」の立ち上げ 20,000千円 民間事業者のプラットフォームを活用して、長岡市の魅力のPRや認知度をアップするプロモーションの展開を展開するもの。プロモーションの実施に合わせてリード関係人口(関係人口候補)のデータを取得、分析して可視化する。令和7年度事業では長岡ファン(関係人口)の獲得を目指すとともに、令和7年度に取得したデータを基に令和8年度以降に事業展開を進める。 ・関係人口創出シティブロモーションページ制作業務委託料【8,360千円】 ・WEB広告業務委託料【11,640千円】				20,000千円			

③観光資源の磨き上げ・プロモーション事業	関連するKPI	①、②、⑤
<p>市内の観光資源の磨き上げを行い更なる観光誘客を図るもの。合併地域の観光拠点となる観光資源の磨き上げを図ることで、周遊促進と市内滞在時間の延長による観光消費額の向上を目指すもの。</p>		
<p>【頑張る地域企業を応援するインバウンド誘客推進事業】 1,000千円 民間の観光施設等における外国人観光客の受入環境整備を行い、外国人観光客が本市に訪れた際の満足度の向上や消費額の向上を図るとともに、観光事業者における外国人観光客の受入れのハードルを下げることを目指すもの。 民間事業者において外国人観光客の受入環境整備のために看板やメニュー等の多言語化等を行う際に補助を行うもの。</p>		
<p>・インバウンド受入環境整備補助金 1,000千円 (補助対象経費)製作費、工事費、翻訳費、印刷費、消耗品費等 (補助対象者)観光施設、宿泊施設、飲食店、商業施設など外国人観光客の受入が見込まれる市内の民間事業者 (補助率)5/10 (補助上限)200千円 (補助件数)5件(補助上限に満たない申請があった場合は、予算の範囲内で6件以上となる可能性あり。)</p>		
<p>【酒の魅力を活かした越後長岡ブランドPR事業】 4,000千円 長岡市には16の酒蔵があり、長岡市日本酒で乾杯推進する条例(平成26年6月施行)を制定し地域の伝統文化の継承を目指すとともに、日本酒イベント「越後長岡酒の陣」の開催などにより魅力発信や誘客促進に取り組んでいる。 令和6年12月に日本の「伝統的醸造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを受け、国内外で日本酒への関心が高まることが期待されていることから、新たなイベントの開催やPRの強化により、長岡市の酒の認知度向上や、日本酒をきっかけとした誘客の促進を図るもの。</p>		
<p>・長岡の日本酒に関する情報発信強化、イベント実施事業負担金 4000千円 負担金支出先:「越後長岡」観光振興委員会(長岡市における交流人口の拡大と観光振興を図ることを目的に長岡市、長岡商工会議所、市内12の観光協会及び交通事業者により組織。)</p>		
<p>【摂田屋・宮内等観光まちづくり事業(来街者増加に向けた振興策の展開)】 4,715千円 地域住民、事業者、学識経験者等からなる協議会を組織し、決定したビジョンに基づき来街者増加のための具体的な取り組みを展開する。 摂田屋・宮内エリアには第二次世界大戦の戦禍を免れた6つの醸造蔵、17件の登録有形文化財(市内総数40件)が残っており、コンパクトなエリアに歴史的資源が集積している。これらの資源を活用して更なる観光誘客に向けた取り組みを進めるもの。 主に首都圏を対象に摂田屋・宮内エリアの魅力発信による認知度向上及び誘客促進のためのプロモーションを行う。 エリア内には人口減少に伴い空家が多く存在することから、これらの空家を活用した新規出店への支援を行い、街のにぎわい生み出すことを目指すもの。 摂田屋・宮内エリアの核となる施設である旧機那サフラン酒製造本舗内の米蔵(市有施設、摂田屋・宮内エリアの情報発信拠点)のリニューアルオープン5周年を記念したイベント実施を支援し、関係者と協議しながらエリアのにぎわいを創出するとともに、認知度向上を図るもの。</p>		
<p>・OTAサイトを活用した観光PR業務委託料 2,000千円 ・摂田屋・宮内エリアにおける空家を活用した新規出店支援補助金 1,500千円 (補助対象経費)工事請負費、設計委託料、監理委託料、原材料費、備品購入費、建物賃借料、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、広告宣伝費、備品設備賃借料、保険料、雑務費、委託費 (補助対象者)空き地や空き家を賃借して新たに出店する民間事業者、土地や建物を取得して、新たに出店する民間事業者 (補助率)2/3 (補助上限)500千円 (補助件数)3件(補助上限に満たない申請があった場合は、予算の範囲内で4件以上となる可能性あり。)</p>		
3	<p>・旧機那サフラン酒製造本舗 米蔵リニューアルオープン5周年記念地域連携イベント運営補助金 500千円 (補助対象経費)会場設営費、広報PR経費、消耗品費等 (補助対象者)摂田屋・宮内エリア観光まちづくり協議会 (補助率)10/10 (補助上限)500千円 (補助件数)1件 ・旧機那サフラン酒製造本舗整備検討専門家会議謝金 715千円 長岡市及び建築専門家、地域の観光振興を担う事業者の参画により、旧機那サフラン酒製造本舗のさらなる活用策を検討するもの。</p>	18,493千円
<p>【佐渡交流強化事業(周遊ルート造成)】 5,178千円 長岡市寺泊地域は古くから佐渡島への玄関口となっており、古くは鎌倉時代に都から佐渡へ流された順徳上皇らが風待ちのため滞留された地としても知られている。こうした歴史的なつながりもあり、平成18年1月の市町村合併前から旧寺泊町と佐渡島では連携が行われており、合併後の平成19年1月には集客プロモーションパートナー都市協定を締結するなど、連携して観光振興に取り組んでいる。令和6年7月に「佐渡島の金山」が世界遺産登録されたことにより、今後さらに佐渡島が注目されることが見込まれることから、これまでの連携を更に強化して佐渡島も絡めた中で長岡市の認知後の向上や誘客促進のための取り組みを行うもの。</p>		
<p>・OTAを活用した観光PR事業、旅行商品造成支援事業負担金 4,900千円 負担金支出先:「越後長岡」観光振興委員会(長岡市における交流人口の拡大と観光振興を図ることを目的に長岡市、長岡商工会議所、市内12の観光協会及び交通事業者により組織。) ・佐渡島と連携した観光PR用素材印刷費 278千円</p>		
<p>【八十里越開通に向けた栃尾の魅力発信事業】3,600千円 国道289号線(通称:八十里越)の開通(令和8年~9年予定)により主に福島県からのアクセスが向上することを見据え、長岡市の東の玄関口である栃尾地域の魅力発信を強化するもの。 外部の専門家、郷土史家を交えてプロモーション施策の検討、内容の磨き上げを行うとともに、魅力発信に向けたプロモーションイベントの開催等を行うもの。</p>		

アオや地域の先人を魅力的に紹介するためのコンテンツを制作する。
また、地域の様々なステークホルダーの参画により地域一体となって栃尾地域の魅力発信につながるイベントを試行的に実施するための経費に補助を行う。

- ・プロモーション施策の検討、内容の磨き上げのための外部専門家、コンテンツ作成監修者謝金 450千円
- ・魅力発信用コンテンツ作成業務委託料 800千円
- ・魅力発信用コンテンツ展示用消耗品 50千円
- ・展示及び空間装飾用原材料費 300千円
- ・栃尾地域の魅力発信事業補助金 2,000千円
(補助対象経費)リース料、印刷費、委託料、高速道路通行料、燃料費、謝金、消耗品費等
(補助対象者)主に栃尾地域住民で構成する実行委員会
(補助率)定額
(補助上限)2,000千円
(補助件数)1件

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費

要素事業数

1

計

12,800千円

③観光資源の磨き上げ・プロモーション事業

関連するKPI

①、②、⑤

市内の観光資源の磨き上げを行い更なる観光誘客を図るもの。各地域の観光拠点となる観光資源の磨き上げを図ることで、周遊促進と市内滞在時間の延長による観光消費額の向上を目指すもの。
併せて、本観光施設においては、各種イベント等も開催されており、地域住民にとっても重要な地域資源であることから、本資源の持続可能性を高めることは、地域住民の生活の質の向上のためにも必要な取り組みである。

【長岡市道の駅R290とちお 機能強化事業】 11,000千円
長岡市栃尾地域にある長岡市道の駅R290とちお は名物の「栃尾のあぶらげ」などを目的に年間524,290人(R5年)の入込がある観光施設である。

本道の駅は、人気のツーリングコース(越後やまなみライン)のランドマークとなっており、土日を中心に多くのバイカーの立ち寄りがあるが、休憩等が中心で、観光の目的地とはなっておらず、消費単価の向上が課題となっている。

併せて、令和8年秋～令和9年夏に予定されている国道289号(八十里越)開通により福島県会津地域からのアクセスが向上し、誘客促進の機会が生まれる可能性がある。

上記の課題と機会を踏まえて、下記のとおり機能強化を図り施設の魅力向上を目指すもの。

・キッチンカー購入費 8,000千円

滞在時間が短い施設利用者でも気軽に軽食やドリンクを購入できる環境を整備し、利用者の消費単価の向上を図る。

併せて、キッチンカーの機動力を活かして、八十里越関係自治体等に出向いて「栃尾のあぶらげ」など地域の名産品や観光PRを行い、栃尾地域への来訪のきっかけづくりを行うためキッチンカーの導入を行うもの。

・遊具購入費 3,000千円

芝生広場や屋内の空スペースを活用して遊具を設置するもの。現在、利用が少ない子育て世代の誘客促進を図るとともに、滞在時間の延長による消費額の増加を目指すもの。

【長岡市楽山苑 建物および景観整備事業】 1,800千円

長岡市与板地域にある楽山苑は、明治25年に建築された「楽山亭」や優雅な庭園を中心とした施設で、春には満開のツツジ、秋にはモミジなどの紅葉を楽しむことができ、毎年多くの観光客が苑内を訪れている。また、季節に合わせて苑内のライトアップや地元団体のお茶会などが行なわれ、観光資源のみならず、地元住民からも親しみを感じていただいている施設となっている。

しかしながら、楽山亭の建物の損傷、老朽化や苑内樹木の繁茂等による景観の悪化等により、安全性が低下しており、早急に観光客等を迎え入れるための機能強化・整備が必要となっている。

整備にあたっては、平成28年度に策定した楽山苑改修基本計画に基づき、地元住民の合意のもと、庭園全体の整備箇所を決定し、楽山苑整備実施計画を策定するもの。

・楽山苑整備実施計画策定業務 1,800千円

【内容】

地域住民の意見を踏まえ、楽山苑庭園整備に向けた実施計画を策定するもの

12,800千円

<2026年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		12月に新組織(DMOを含む)の立ち上げ予定 引き続き合意形成と、アンケート調査を実施しつつ、それらの魅力を発信するための情報発信の拠点となるHPの構築を実施するもの。 ペルソナ設定をした旅行者のニーズに合致し、誘客を促進できる形であると同時に、各ステークホルダーが情報交換できるような構造を目指す。 また会員制の情報制度など、マネジメント費用で稼げる仕組みを検討する。						
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
2026年4月	2027年3月	2026年3月	当初	年月		年月		
交付対象事業経費							64,162千円	
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	3	計	55,862千円
1	①「地域一体となった観光地域づくり事業」				関連するKPI	①、②、⑤		
	①-1 様々なステークホルダーの取組みと観光まちづくりのかじ取り役となる新たな組織づくり 1,420千円 令和8年12月のDMOの立ち上げに向けて具体的な協議や戦略策定のための検討を行うもの。 ・WS、検討会運営業務委託料 1,100千円 ・WS、検討会参加者謝金 320千円 ①-2 アンケート調査による現状把握 2,000千円 ①-1のKPIとして想定している指標(来訪者満足度、観光消費額)、DMOの形成・確立計画において必須KPIとなっている指標(旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率)等に関する情報を収集するためのアンケート調査を行うもの。指標を設定し、PDCAサイクルを確立することで、より効果的な政策を実施することが可能になる。 ・市内来訪者アンケート実施業務委託料 2,000千円				3,420千円			
2	②「関係人口創出(ファンクラブ)サイト構築事業」				関連するKPI	③、④		
	継続的な関係人口を創出するための「長岡ファンクラブ」の立ち上げ 30,000千円 民間事業者のプラットフォームを活用して、長岡市の魅力のPRや認知度をアップするプロモーションを展開するもの。 令和7年度事業で取得したデータを基に、訴求ポイントを探った上でより効果的なプロモーションの実施を行い、「長岡ファン」候補への継続的な情報発信、関係の維持及び強化により、更に多くの長岡ファン(関係人口)の獲得を目指すもの。 ・関係人口創出シティブロモーションページ制作業務委託料 9,680千円 ・市内観光事業者と連携したプロモーションページ作成のための取材費 5,500千円 ・WEB広告業務委託料 14,820千円				30,000千円			

3	<p>③観光資源の磨き上げ・プロモーション事業</p> <p>市内の観光資源の磨き上げを行い更なる観光誘客を図るもの。合併地域の観光拠点となる観光資源の磨き上げを図ることで、周遊促進と市内滞在時間の延長による観光消費額の向上を目指すもの。</p> <p>【頑張る地域企業を応援するインバウンド誘客推進事業】 1,000千円 民間事業者において外国人観光客の受入環境整備のために看板やメニュー等の多言語化等を行う際に補助を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド受入環境整備補助金 1,000千円 (補助対象経費)製作費、工事費、翻訳費、印刷費、消耗品費等 (補助対象者)観光施設、宿泊施設、飲食店、商業施設など外国人観光客の受入が見込まれる市内の民間事業者 (補助率)5/10 (補助上限)200千円 (補助件数)5件(補助上限に満たない申請があった場合は、予算の範囲内で6件以上となる可能性あり。) <p>【酒の魅力を活かした越後長岡ブランドPR事業】 4,000千円 新たなイベントの開催やPRの強化により、長岡市の酒の認知度向上や、日本酒をきっかけとした誘客の促進を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡の日本酒に関する情報発信強化、イベント実施事業負担金 4000千円 負担金支出先:「越後長岡」観光振興委員会(長岡市における交流人口の拡大と観光振興を図ることを目的に長岡市、長岡商工会議所、市内12の観光協会及び交通事業者により組織。) <p>【摂田屋・宮内等観光まちづくり事業(来街者増加に向けた振興策の展開)】 14,192千円 首都圏を対象に摂田屋・宮内エリアの魅力発信による認知度向上及び誘客促進のためのプロモーションを行う。 エリア内には人口減少に伴い空家が多く存在することから、これらの空家を活用した新規出店への支援を行い、街のにぎわい生み出すことを目指すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏向けプロモーション及びモニターツアー招聘業務委託料 6,000千円 ・旧機那サフラン酒製造本舗整備検診専門家会議謝金 1,192千円 ・空家を活用した新規出店支援補助金 2,000千円 (補助対象経費)工事請負費、設計委託料、監理委託料、原材料費、備品購入費、建物賃借料、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、広告宣伝費、備品設備賃借料、保険料、雑務費、委託費 (補助対象者)空き地や空き家を賃借して新たに出店する民間事業者、土地や建物を取得して、新たに出店する民間事業者 (補助率)2/3 (補助上限)500千円 (補助件数)4件(補助上限に満たない申請があった場合は、予算の範囲内で5件以上となる可能性あり。) ・新たな観光コンテンツ造成等委託料 5,000千円 <p>【佐渡交流強化事業(周遊ルート造成)】 1,250千円 長岡市と佐渡の連携により、効果的な情報発信を行い、誘客促進を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡-佐渡観光PR業務委託料 1,250千円 <p>【八十里越開通に向けた栃尾の魅力発信事業費】 2,000千円 国道289号線(通称:八十里越)の開通(令和8年~9年予定)を受けて、プロモーション事業及び東の入口である栃尾地域から長岡市内の他のエリアへの周遊促進事業を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃尾地域プロモーション業務委託料 1,000千円 ・長岡市内周遊促進業務委託料 1,000千円 	関連するKPI	①、②、⑤	22,442千円
		<p>交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費</p>	要素事業数	1 計
1	<p>③観光資源の磨き上げ・プロモーション事業</p> <p>市内の観光資源の磨き上げを行い更なる観光誘客を図るもの。各地域の観光拠点となる観光資源の磨き上げを図ることで、周遊促進と市内滞在時間の延長による観光消費額の向上を目指すもの。 併せて、本観光施設においては、各種イベント等も開催されており、地域住民にとっても重要な地域資源であることから、本資源の持続可能性を高めることは、地域住民の生活の質の向上のためにも必要な取り組みである。</p> <p>【長岡市道の駅R290とちお 施設活用推進事業】 5,000千円 長岡市栃尾地域にある長岡市道の駅R290 とちおでは、観光客、地元住民の誘客促進と利用者の満足度の向上が課題となっている。 上記の課題を解決するために地元の意欲的な事業者(飲食、物販を想定)が安価・短期間出店できるチャレンジショップの機能を付加するもの。 年間50万人以上が利用するビジネスチャンス地元意欲ある事業者を活用してもらい創出するとともに、飲食や物販の機能を強化し道の駅来訪者の消費を促すことを目指すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修設計委託料 5,000千円 チャレンジショップとして活用できる環境とするため、施設改修に係る設計を行うもの。 <p>【長岡市楽山苑 建物および苑内景観形成事業】 3,300千円 楽山苑内にある楽山亭建物整備および苑内景観の形成を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽山亭建物整備および苑内景観形成に係る工事費 3,300千円 	関連するKPI	①、②、⑤	8,300千円

全事業期間における本年の位置付け		新組織(DMOを含む)の自走に向けた取り組み 新組織(DMOを含む)でPRする魅力的な地域コンテンツを販売できるものかどうか試行錯誤を繰り返す。また異業種連携の部会を実施し、意欲ある事業者同士が連携する新たな取組を積極的に支援する。					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2027年4月	2028年3月	2027年3月	当初	年月		年月	
交付対象事業経費		120,642千円					
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	3	計
							74,442千円
1	①「地域一体となった観光地域づくり事業」				関連するKPI	①、②、⑤	
	①-2 アンケート調査による現状把握 ①-1のKPIとして想定している指標(来訪者満足度、観光消費額)、DMOの形成・確立計画において必須KPIとなっている指標(旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率)等に関する情報を収集するためのアンケート調査を行うもの。指標を設定し、PDCAサイクルを確立することで、より効果的な政策を実施することが可能になる。 ・市内来訪者アンケート実施業務委託料 2,000千円					2,000千円	
2	②「関係人口創出(ファンクラブ)サイト構築事業」				関連するKPI	③、④	
	継続的な関係人口を創出するための「長岡ファンクラブ」の立ち上げ 50,000千円 令和7年度及び8年度に取得してデータや作成したプロモーションツールをベースに、ファンクラブページを作成するもの。 併せて、長岡ファン(関係人口)の更なる獲得に向けたPRを行う。 ・ファンクラブページ制作業務委託料 14,740千円 ・ファンクラブページ更新業務委託料 1,760千円 ・WEB広告業務委託料 33,500千円					50,000千円	
3	③観光資源の磨き上げ・プロモーション事業				関連するKPI	①、②、⑤	
	市内の観光資源の磨き上げを行い更なる観光誘客を図るもの。合併地域の観光拠点となる観光資源の磨き上げを図ることで、周遊促進と市内滞在時間の延長による観光消費額の向上を目指すもの。 【頑張る地域企業を応援するインバウンド誘客推進事業】 1,000千円 民間事業者において外国人観光客の受入環境整備のために看板やメニュー等の多言語化等を行う際に補助を行うもの。 ・インバウンド受入環境整備補助金 1,000千円 (補助対象経費)製作費、工事費、翻訳費、印刷費、消耗品費等 (補助対象者)観光施設、宿泊施設、飲食店、商業施設など外国人観光客の受入が見込まれる市内の民間事業者 (補助率)5/10 (補助上限)200千円 (補助件数)5件(補助上限に満たない申請があった場合は、予算の範囲内で6件以上となる可能性あり。) 【酒の魅力を活かした越後長岡ブランドPR事業】 4,000千円 新たなイベントの開催やPRの強化により、長岡市の酒の認知度向上や、日本酒をきっかけとした誘客の促進を図るもの。 ・長岡の日本酒に関する情報発信強化、イベント実施事業負担金 4,000千円 負担金支出先:「越後長岡」観光振興委員会(長岡市における交流人口の拡大と観光振興を図ることを目的に長岡市、長岡商工会議所、市内12の観光協会及び交通事業者により組織。) 【摂田屋・宮内等観光まちづくり事業(来街者増加に向けた振興策の展開)】 14,192千円 インバウンドを対象に摂田屋・宮内エリアの魅力発信による認知度向上及び誘客促進のためのプロモーションを行う。 エリア内には人口減少に伴い空家が多く存在することから、これらの空家を活用した新規出店への支援を行い、街のにぎわいを生み出すことを目指すもの。 ・インバウンド向けプロモーション及びファミトリップ招聘委託料 6,000千円 ・旧機那サフラン酒製造本舗整備検討専門家会議謝金 1,192千円 ・空家を活用した新規出店支援補助金 2,000千円 (補助対象経費)工事請負費、設計委託料、監理委託料、原材料費、備品購入費、建物賃借料、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、広告宣伝費、備品設備賃借料、保険料、雑役務費、委託費 (補助対象者)空き地や空き家を賃借して新たに出店する民間事業者、土地や建物を取得して、新たに出店する民間事業者 (補助率)2/3 (補助上限)500千円 (補助件数)4件(補助上限に満たない申請があった場合は、予算の範囲内で5件以上となる可能性あり。) ・新たな観光コンテンツ造成等委託料 5,000千円 【佐渡交流強化事業(周遊ルート造成)】1,250千円 長岡市と佐渡の連携により、効果的な情報発信を行い、誘客促進を図るもの。 ・長岡-佐渡観光PR業務委託料 1,250千円 【八十里越開通に向けた栃尾の魅力発信事業費】 2,000千円 国道289号線(通称:八十里越)の開通(令和8年~9年予定)を受けて、プロモーション事業及び東の入口である栃尾地域から長岡市内の他のエリアへの周遊促進事業を行うもの。 ・栃尾地域プロモーション業務委託料 1,000千円 ・長岡市内周遊促進業務委託料 1,000千円					22,442千円	

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費		要素事業数	1	計	46,200千円
③観光資源の磨き上げ・プロモーション事業		関連するKPI	①、②、⑤		46,200千円
<p>市内の観光資源の磨き上げを行い更なる観光誘客を図るもの。各地域の観光拠点となる観光資源の磨き上げを図ることで、周遊促進と市内滞在時間の延長による観光消費額の向上を目指すもの。</p> <p>併せて、本観光施設においては、各種イベント等も開催されており、地域住民にとっても重要な地域資源であることから、本資源の持続可能性を高めることは、地域住民の生活の質の向上のためにも必要な取り組みである。</p> <p>【長岡市道の駅R290とちお 施設活用推進事業】 40,600千円 長岡市栃尾地域にある長岡市道の駅R290 とちおでは、観光客、地元住民の誘客促進と利用者の満足度の向上が課題となっている。</p> <p>上記の課題を解決するために地元の意欲的な事業者（飲食、物販を想定）が安価・短期間出店できるチャレンジショップの機能を付加するもの。</p> <p>年間50万人以上が利用するビジネスチャンス地元意欲ある事業者を活用してもらう機会を創出するとともに、飲食や物販の機能を強化し道の駅来訪者の消費を促すことを目指すもの。</p> <p>・施設改修工事費 40,600千円 チャレンジショップとして活用できる環境とするため、修繕を行うもの。</p> <p>【長岡市楽山苑 建物および庭園整備事業】 5,600千円 楽山苑内にある楽山亭建物整備および苑内の景観形成及び園路整備を行うもの。</p> <p>・楽山亭建物整備および苑内景観形成・園路整備工事費 5,600千円</p>					

<2028年度(4年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け								
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月		
交付対象事業経費		0千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数		計	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数		計	0千円

<2029年度(5年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け								
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月		
交付対象事業経費		0千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数		計	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数		計	0千円

1. 交付対象施設の概要

(1) 施設の名称及び場所

施設の名称	寺泊観光案内所
施設の場所	(予定地)寺泊上田町7695番地1

(2-1) 施設の所有者

種類	地方公共団体	名称	長岡市
出資比率	100.0%		

(2-2) 施設の整備主体

整備主体	長岡市
------	-----

(2-3) 民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有主体の場合 ※該当がある場合

該当	①	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有する施設等を地方公共団体や公共的団体等が整備する場合		
	②	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有し、かつ整備する施設等について、地方公共団体が整備費を補助する場合		
要件	地方自治法に基づく「公の施設」として位置付けられるか		無	「公の施設」としての位置付け及び協定等の締結の時期 (例)●年●月頃
	(「公の施設」として位置付けられない場合) 協定等の締結により中長期的・安定的な施設運営を担保されるか		有	
	「公の施設」として位置付けられない理由		観光交流拠点施設であり、案内所の運営は地域の観光協会と連携して運営しているため	
協定等の内容				

2. 事業計画期間及び施設の供用開始年度

施設整備等の事業計画期間及び施設の供用開始年度	①事業計画期間(全体) ※その他の補助金等を用いて整備する部分も含めた全体期間							②事業計画期間(交付対象) ※拠点整備タイプの対象事業の実施期間							施設の供用開始年度	
	2025	年	4	月	~	年	月	2025	年	4	月	~	2027	年	3	月
「①全体」と「②交付対象」の期間が異なる理由 ※①と②の終了時期が異なる場合のみ記載																

3. 経費内訳

	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	184,800千円	95,000千円	0千円	0千円	0千円	279,800千円
交付対象事業における建築物整備経費【②】	8,000千円	95,000千円	0千円	0千円	0千円	103,000千円
交付対象事業における設備整備・用地造成等経費【③】	176,800千円	0千円	0千円	0千円	0千円	176,800千円
交付対象事業における備品整備経費【④】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における効果促進事業(ソフト事業)経費【⑤】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における備品整備経費比率【④/①】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体事業費	184,800千円	95,000千円	0千円	0千円	0千円	279,800千円

全事業期間における本年の位置付け		①設計業務委託 ②建設予定地の施設の解体					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025年 4月	2026年 3月	2025年 3月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		184,800千円					
建築物整備経費	8,000千円	設備整備・用地造成等経費	176,800千円	備品経費	0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円
間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額	全体事業費		0千円	交付対象事業経費の上限額	国の負担		0千円 0.0%
	民間事業者等への補助額		0千円		地方公共団体の負担		0千円 0.0%
	交付対象事業経費		0千円		民間事業者等の負担		0千円 0.0%
建築物整備の内容							要素事業数 1
区分	間接補助	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳		
			全体	対象			
新築		<p>寺泊地域内の国道402号線バイパス工事に伴い、法線にかかっている寺泊観光案内所の移転が必要になっている。寺泊地域「魚の市場通り」は、長岡市の中でも最も通年観光客が多く、周辺自治体にとっても核となる観光拠点である。そのためバイパス工事に伴う人流の活性化に合わせて、「魚の市場通り」を含めた周辺エリアへの周遊促進を行う拠点となるべく、寺泊観光案内所を新築するもの。新築場所は、「魚の市場通り」に隣接する旧寺泊体育館とすることで、効果的な観光案内を実施するもの。</p> <p>【下記施設の設計委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造 平屋建て 144㎡ (旧施設⇒木造2F105㎡) ・大型観光バスでの団体観光客への対応可能な可動式多目的スペース ・駐車場を含め、フリースペースを活用したイベントの展開 ・多目的トイレの設置 <p>【R7予定】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①施設と外構の設計委託 ②予定地の既存建物の解体(旧寺泊体育館) 	8,000	8,000	設計委託経費【8,000千円】		
					<ul style="list-style-type: none"> ・施設設計委託料4,500千円(うち、交付対象事業経費 4,500千円) ・外構設計委託料3,500千円(うち、交付対象事業経費 3,500千円) 		
					関連するKPI		①、②、⑤
					間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額		
					全体事業費		
					民間事業者等への補助額		
					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合		
交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%			
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%			
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%			
設備整備・用地造成等の内容							要素事業数 1
区分	間接補助	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳		
			全体	対象			
その他		<p>旧寺泊体育館は施設の老朽化により解体を検討する中で、過疎化が進む寺泊地域で、県内屈指の観光地である「魚の市場通り」と隣接する体育館跡地を、どのように活用し地域を活性化させるか地域と市で検討してきた。「魚の市場通り」を含めた周辺エリアへの周遊促進を行う拠点となる観光案内所(新築)の最適地として、旧寺泊体育館を解体するもの。</p>	176,800	176,800	建設予定地の既存建物解体経費【176,800千円】		
					<ul style="list-style-type: none"> ・寺泊体育館解体費用175,000千円(うち、交付対象事業経費 175,000千円) ・同屋内残存物処理委託料1,800千円(うち、交付対象事業経費 1,800千円) 		
					関連するKPI		①、②、⑤
					間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額		
					全体事業費		
					民間事業者等への補助額		
					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合		
交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%			
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%			
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%			
小計			176,800	176,800			
うち間接補助			0	0			
備品整備の内容							要素事業数 1
間接補助		備品整備の説明	金額(千円)		経費内訳		
			全体 / 4	ペ対象			

<2026年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		新築工事、外構工事							
事業開始時期		事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
#### 年 4 月		#### 年 3 月	#### 年 3 月	当初	年 月	年 月	年 月	年 月	
交付対象事業経費		95,000千円							
建築物整備経費	95,000千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円	0千円	
間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額		全体事業費	0千円	交付対象事業経費の上限額	国の負担	0千円	0.0%		
		民間事業者等への補助額	0千円	交付対象事業経費の上限額	地方公共団体の負担	0千円	0.0%		
		交付対象事業経費	0千円	0千円	民間事業者等の負担	0千円	0.0%		
建築物整備の内容							要素事業数	1	
区分	間接補助	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳				
			全体	対象					
新築		【施設名称】 寺泊観光案内所 【整備内容】 建物の新築工事、外構工事	95,000	95,000	【建築物本体工事】 建物新築工事費 70,000千円(うち交付金対象70,000千円) 【建築物と不可分な設備工事】 外構工事費 25,000千円(うち交付金対象25,000千円) 【合計】95,000千円 (うち、交付対象事業経費 95,000千円)				
					関連するKPI	①、②、⑤			
					間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額				
					全体事業費				
					民間事業者等への補助額				
					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合				
					交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
							地方公共団体の負担	0千円	0.0%
							民間事業者等の負担	0千円	0.0%
設備整備・用地造成等の内容							要素事業数		
区分	間接補助	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳				
			全体	対象					
		小計	0	0					
		うち間接補助	0	0					
備品の内容							要素事業数		
間接補助		備品整備の説明	金額(千円)		経費内訳				
			全体	対象					
		小計	0	0					
		うち間接補助	0	0					
効果促進事業(ソフト事業)の内容							要素事業数		
間接補助		効果促進事業(ソフト事業)の説明	金額(千円)		経費内訳				
			全体	対象					
		小計	0	0					
		うち間接補助	0	0					

<2027年度(3年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費		0千円					
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円
間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額	全体事業費	0千円	交付対象事業経費の上限額	国の負担		0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担		0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円		民間事業者等の負担		0千円	0.0%

<2028年度(4年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費		0千円					
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円
間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額	全体事業費	0千円	交付対象事業経費の上限額	国の負担		0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担		0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円		民間事業者等の負担		0千円	0.0%
建築物整備の内容							要素事業数
区分	間接補助	整備内容の説明		金額(千円)		経費内訳	
		全体	対象				
小計		0	0				
うち間接補助		0	0				

<2029年度(5年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費		0千円					
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費	0千円	備品経費	0千円	効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円
間接補助分 ※その他の補助金等を除いた金額	全体事業費	0千円	交付対象事業経費の上限額	国の負担		0千円	0.0%
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担		0千円	0.0%
	交付対象事業経費	0千円		民間事業者等の負担		0千円	0.0%
建築物整備の内容							要素事業数
区分	間接補助	整備内容の説明		金額(千円)		経費内訳	
		全体	対象				
小計		0	0				
うち間接補助		0	0				